

日置市生ごみ回収事業

コツコツ(CO₂CO₂)取り組む
生ごみリサイクルのススメ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



日置市は「**生ごみリサイクル**」を通して、
市民と共働しながら、地球温暖化を抑制するために**SDGs**を有効活用し取り組んでいます。

人口5万人に満たない小さな町で

大きな効果！！

地域レベルで取り組む地球温暖化防止活動

それは

コツコツ取り組む生ごみリサイクル

生ごみリサイクルを通じて
※取組み自治会(市民)からの感想

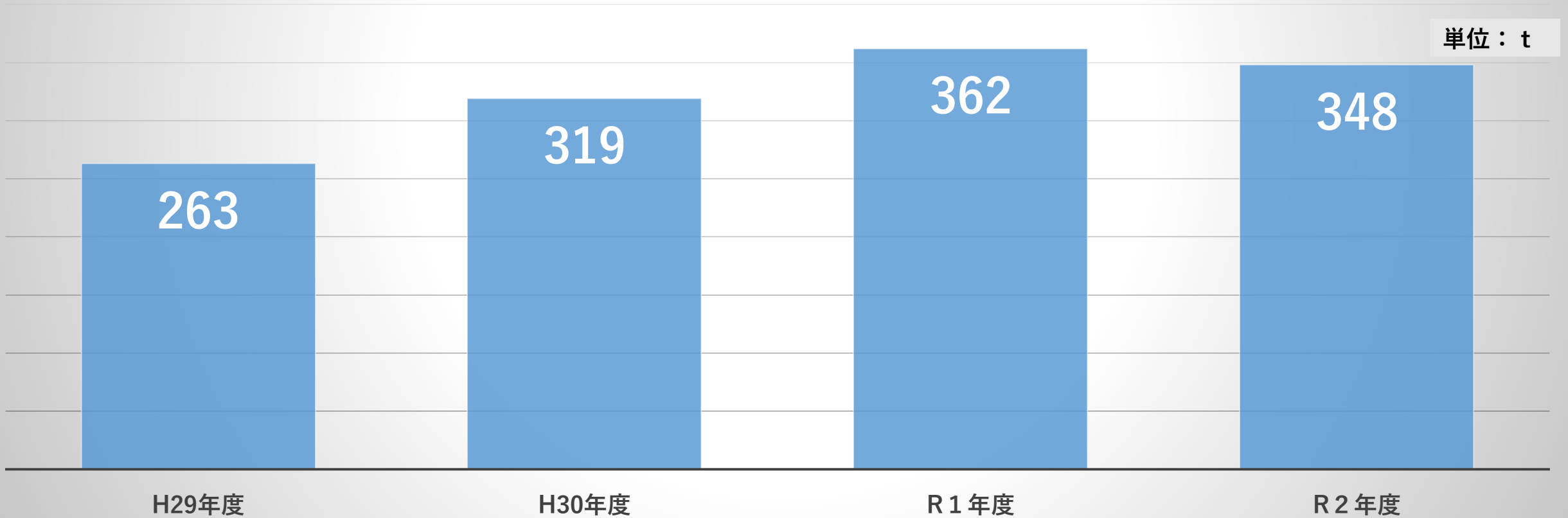
地域の繋がり(地域コミュニティ)が
形成された。

共生・共働と言う言葉が、形になって行われている成功事例と言える。

また、この事業は世界を変える。

明治大学准教授 藤本 穰彦氏 談

生ごみリサイクルによるCO2削減効果



市民と行政の歯車が完全に噛み合い 動き出した。



結果

「地球温暖化防止に繋がった。」と
自信を持って言える事業にまで成長

いきなり、大きなことは出来ない！
ならば、自分たちに今できることを
やろうじゃないか！
(行政担当者の思い)

信頼関係の構築に成功

思いに市民が賛同
あなたがそこまで思っているのなら
私たちが協力する！
(市民(特に女性団体等))
※何故なら、台所に立つのは殆ど
主婦だから。

生ごみリサイクルの流れ (市民が行う事)



出来るだけ水を切る → バケツに入れる → 出す

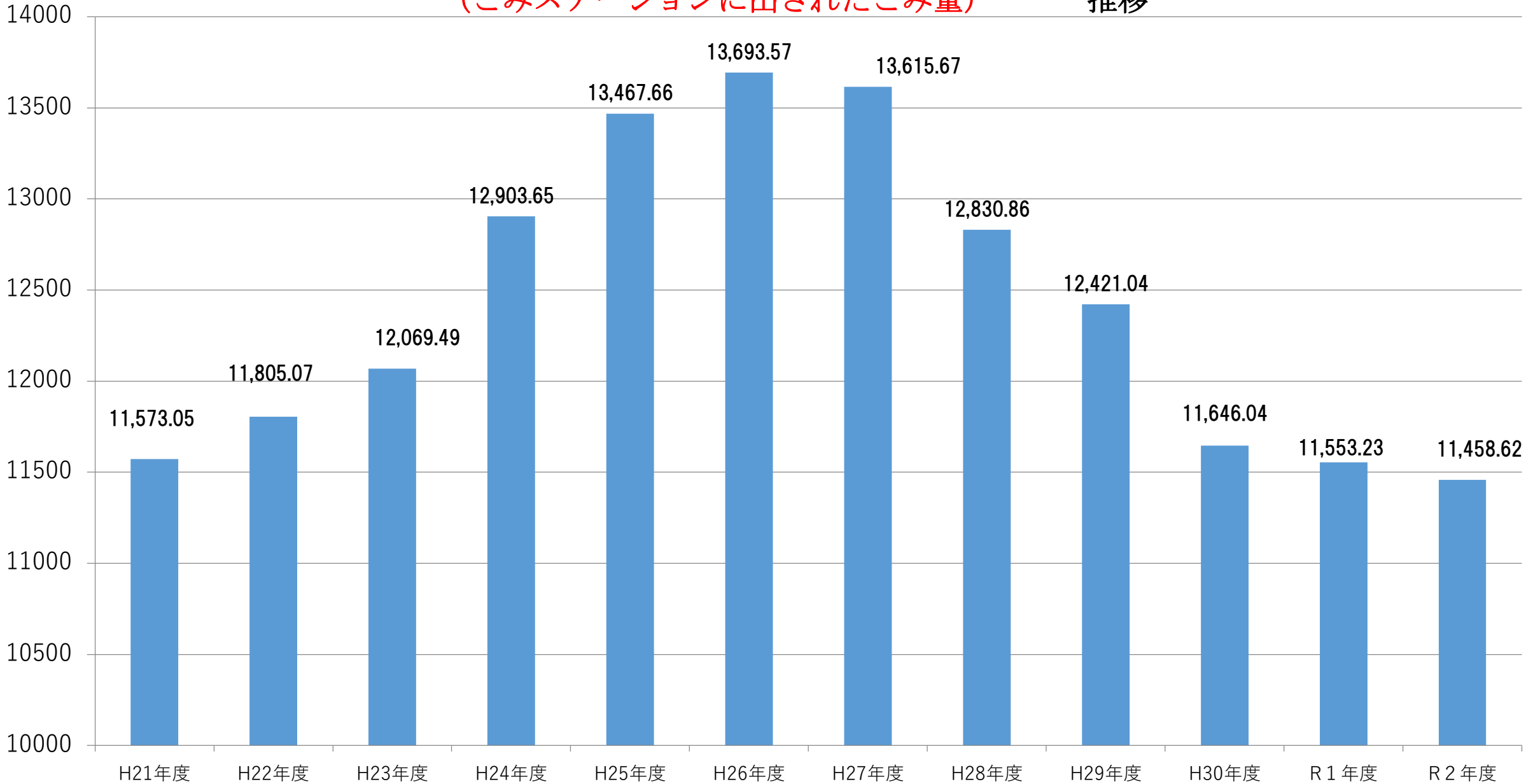
たったこれだけ！！

トン

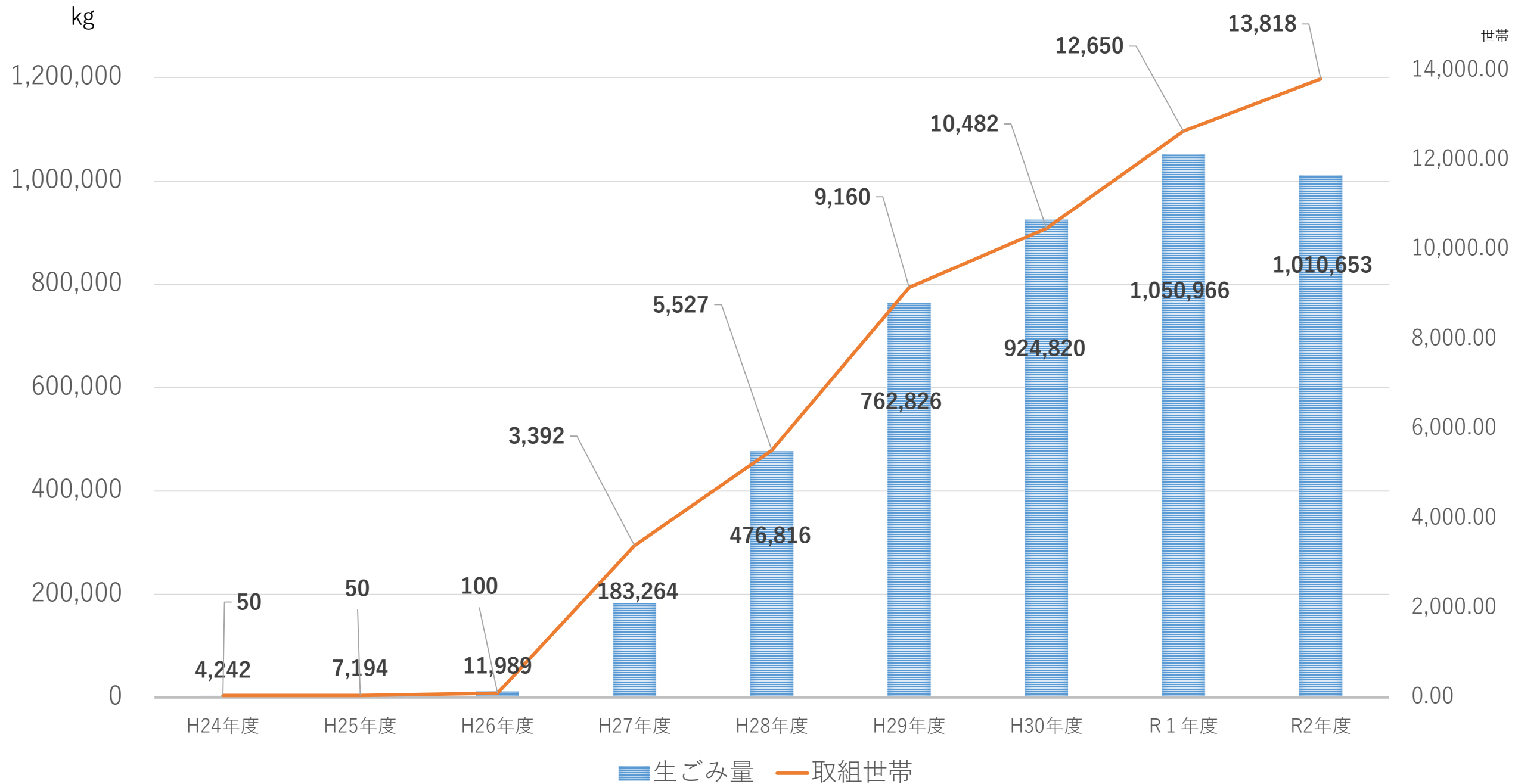
日置市クリーン・リサイクルセンター搬入ごみ量

(ごみステーションに出されたごみ量)

推移



生ごみリサイクル取組世帯数と生ごみリサイクル量の推移



生ごみリサイクルの流れ (行政が行う事)



回収 → 遺物の除去 → 堆肥化
全て責任をもって回収し、堆肥化します。

システム自体が簡単でロスが少ない。

「生ごみリサイクル」で見込まれるメリット

1) 地球温暖化の原因とされている二酸化炭素を殆ど排出しません。

2) 焼却しないので「焼却灰」が発生しません。

※最終処分に係る費用が不要ない。

※できた堆肥は再利用できます。

3) 指定ごみ袋の使用枚数が減ります。

4) 生ごみを出したいときに出せます。

などの地球環境や家庭にも優しい効果を実証されています。

日置市の食品ロスについて

- 1) 令和2年度の生ごみ回収量は1,010t
- 2) そのうち、**202t** が食品ロスに該当する生ごみ
- 3) 202t のうち、**約27t** が全く手を付けていない食品
- 4) 202t のうち、**約15t** が食べ残し であると推測されます。

2) 3) 4)は

行政の**課題**であり**責務**である！！

3010運動の実施！

問題となっている宴会等での食べ残しで発生する食品の廃棄物削減にも大きな効果が出ています。

宴会などで
ポスターの配布

店頭
ポスターの掲示

“おいしく”
“楽しく”
“残さず”
料理を
食べまわす

おそとで食べ残しゼロ！

さん まる いち まる

3010 運動

皆様のご協力をお願いします

飲食店等からの生ごみのうち、約6割がお客さんの食べ残した料理です。みんなで宴会等での「食べまわり」をミッションとして、次の「30・10運動」に取り組みましょう。

1. 参加者に合わせた店舗・メニュー選定と適量の注文に心掛けましょう！
2. 乾杯後 30分 は席を立たず料理を楽しみましょう！
3. お開き前 10分間 は自分の席に戻り、残った料理を楽しみましょう！

日置市 伊集院町衛自連

乾杯後 30分

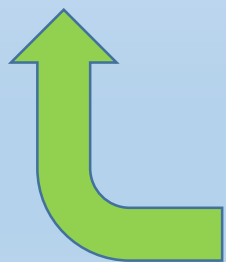
お開き前 10分

乾杯の後 30分とお開き前の10分間は料理を楽しみ、「もったいない」を心がけ、食品ロス削減の取り組みにご協力下さい！

伊集院町衛自連

令和3年9月 ゼロカーボンシティ 取組みを開始！！

現在使用している市指定ごみ袋を
「バイオマスプラスチック」を使用した
ごみ袋に変更するなど、石油資源の節約、温室効果ガスの
削減に積極的に取組み、更に一步踏み込んだ活動を始めます！！



今できることをやる！！
そして持続する！！

